	氏名	担当科目	経歴	メッセージ
個人 グループ	土屋　広次郎	個人： 声楽（バリトン） ヴォイストレーニング グループ：舞台芸術 ミュージカル・オペラ	東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究独唱科修了。二期会オペラスタジオマスタークラス修了。国際ロータリー財団親善奨学生としてイタリアへ留学。 A. ボレッリ（ソプラノ歌手）、L. ベレンゴ(元スカラ座コレペティトーレ)に師事し各地にて演奏活動。オペラ「フィガロの結婚」等の喜劇から正歌劇まで幅広いレパートリーで多くのプロダクションにて出演。 新国立劇場主催の「賢い女」や神奈川芸術フェスティバル「ハーメルンの笛吹き男（一柳慧作曲　世界初演）」など多くのオペラに出演。 バッハ「マタイ受難曲」の宗教曲、「ベートーヴェン・第九」等のコンサートソリストとしても活動。 遣唐使・円仁を題材とした音楽劇「円仁」(主演)はNHK総合・NHKワールドで放送され、全国発売されたCD「大切なこと」はNHKラジオの【ユアソング(心に残る新しい歌)】として毎日2ヶ月間放送された。 BS-TBS「日本名曲アルバム」エンディング演奏等、メディアにも多数出演。近年では教育と娯楽の「Edutainment Concert」トークコンサートを国内外で展開している。 平成12年度文化庁インターンシップ研修員。横浜音楽文化協会会員。横浜ホッチポッチミュージックフェスティバルアドバイザー。二期会会員。	声楽の歌唱で、オペラだけでなく歌曲、ミュージカル、ポップス、ジャズ、ボサノヴァなど様々なジャンルの曲を歌ってきた経験からオールジャンル指導します。「歌うことが苦手だけど上手くなりたい！」「声楽のスキル上げたい！」という人も大歓迎！テクニックを学ぶだけでなく、探究心、表現力（コミュ力）などを実践で学び、社会スキルも身につけられる楽しいレッスンをしています。
個人	増田　弥生	声楽（メゾソプラノ）	宮崎県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科を松田トシ賞を得て卒業。 明治安田生命クオリティオブライフ文化財団の奨学生として、ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科に留学。 帰国後、東京藝術大学大学院修士課程（独唱）、新国立劇場オペラ研修所を修了。更に文化庁派遣芸術家在外研修員、ロームミュージックファンデーション音楽在外研究生として2009年までウィーンにて研鑽を積む。 2004年新国立劇場『ファルスタッフ』ページ夫人で本格的なオペラデビューを飾り、東京二期会『ワルキューレ』でフリッカに抜擢され高い評価を得た。 主にドイツオペラをレパートリーとし、新国立劇場『ワルキューレ』（ジークルーネ、ヴァルトラウテ）、二期会『ばらの騎士』（アンニーナ）、『ルル』（ゲシュヴィッツ令嬢）などを演じて好評を博している。 コンサートではバッハの受難曲、「メサイア」、「第九」等宗教曲のアルトソロの他、ドイツ歌曲や日本歌曲によるリサイタルにて活躍の場を展開している。 第71回日本音楽コンクール声楽部門（歌曲）、第10回友愛ドイツ歌曲コンクール第1位。二期会会員。	パフォーマンスにおいて基盤になること（身体に合った発声、歌詞や作品の理解、発音、音程など）を丁寧に指導してまいります。「高い塔を立ててみないと、新たな水平線は見えてこない」～皆さんの溢れるチャレンジ精神を、精一杯サポートしたいと思っております。
個人	宮部　小牧	声楽（ソプラノ）	東京藝術大学卒業。同大学院修士課程オペラ専攻修了。在学中に安宅賞受賞。文部省派遣交換留学生として渡墺。 明治安田生命文化財団助成をうけて、ウィーン国立音楽大学オペラ科及びリート・オラトリオ科に学び、後者を修了。 ヨーロッパ各地のマスタークラスで研鑽を積む。友愛ドイツ歌曲コンクール優勝、セルトゲンボス国際声楽コンクール、日本音楽コンクール入賞。 ラインスベルク国際音楽祭、東京室内歌劇場、びわ湖ホール主催公演の他、「メサイア」「第九」「フィガロの結婚」「魔笛」「愛の妙薬」「椿姫」「リゴレット」「ラ・ボエーム」「ナクソス島のアリアドネ」「電話」等のオペラや各種コンサートに出演。 鳥井俊之作曲オペラ「雪女の恋」には創作段階から携わり、主役こゆきを演じた。シュレーカーのオペラ「クリストフォロス」日本初演に出演。ドイツ歌曲を中心としたコンサート活動も継続して行っている。 二期会、日本声楽アカデミー各会員。フェリス女学院大学、聖徳大学、洗足学園音楽大学講師。手賀の郷ジュニアコーラス主宰。	声は心と直結した素晴らしい楽器で、一人一人の声が世界でたった一つの宝物です。皆さんの特性と希望に合わせて、楽しくレッスンを行っていきます。思いきり声を出して心も健康に！様々な国の歌に触れることで、世界に目を向け、将来を豊かに広げていきましょう♪
個人	山村　尚子	声楽（ソプラノ）	大分県立芸術短期大学声楽科、東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修了。二期会オペラスタジオ第39期修了時に優秀賞を受賞。第59回読売新人演奏会出演。 第38回西日本出身新人紹介演奏会にて西日本新聞社賞受賞。第32回日伊声楽コンコルソ入選。「コシ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ役でオペラデビュー。 その後「フィガロの結婚」伯爵夫人「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・アンナ「魔笛」パミーナ「ラ・ボエーム」ミミ「椿姫」ヴィオレッタ「蝶々夫人」タイトルロール「アンドレア・シェニエ」マッダレーナ「ファウスト」マルグリート「こうもり」ロザリンデ役ほかに出演。またソプラノソロとしてモーツァルト「レクイエム」ブラームス「ドイツレクイエム」ヴェルディ「レクイエム」フォーレ「レクイエム」ドヴォルザーク「スターバト・マーテル」ヘンデル「メサイア」ベートーヴェン「第九」ほか多数の演奏会に出演。二期会会員。フェリス女学院大学非常勤講師。	声楽を担当する山村尚子です。既にそれぞれが自分の楽器を持っている「歌」は誰にでも気軽に始めることができます。その唯一無二であるあなたの楽器のポテンシャルを効果的に引き出すお手伝いができればと思います。
個人	稲　幸恵	ヴォイストレーニング	武蔵野音楽大学声楽学科卒業。同大学大学院修了。2007年野村国際文化財団文化助成を受け、イタリアヴェローナに留学。2008年、イタリア政府奨学金を受け国費留学生として伊国立ヴィチェンツァ音楽院に留学。2011年同音楽院を卒業。ヴィチェンツァ音楽フェスティバル、カザルグランデ劇場ニューイヤーコンサート、同劇場「愛の妙薬」ジャンネッタ等に出演。留学中は、ヴィチェンツァ市後援チャリティーコンサートや、国際文化理解の為のコンサート「国境のない音楽」等も企画。また、海外講師を招聘した講習会を、2014年より定期的に国内で主催している。 科学的なボイストレーニングとして欧米を中心に普及しているEstill Voice Trainingには、伊留学中に出会う。イタリア国内の公式講習会に通い、2015年に認定トレーナー(EMT)資格を取得し、2022年アジア人で初めて認定インストラクター資格(Estill Mentor & Course Instructor)を取得。 全ての音楽ジャンルに適用できるボイストレーニング、無理のない発声法、ミュージカル発声、表現方法を探求し、国内外の学会や研究会等に参加、発表等を行う。2022年には日本音声言語医学会総会・学術講演会にて教育講演。現在は、国内外の第一線で活躍するミュージカル俳優、声優、様々なジャンルの歌手のヴォイストレーニング、歌唱指導、 声の調整を主に行なっている。	皆さんの声には限りない可能性があり、未来を拓く力があります。才能がなければ歌えない？ブロードウェイや海外のオペラハウスで歌うことは遠い世界？私はそう思いません。 好きという気持ち、そして学びと日々のトレーニングが、可能性を無限に広げてくれます。素晴しい歌は、国境を超えて多くの人の心を動かし、新しい世界を拓いてくれます。歌の勉強は一生続くものですが、その道のりは本当に楽しいものです。歌で世界へと羽ばたきたい、自由に楽しく歌ってみたいと思っている皆さんと、共に歩んで行くレッスンをしていきたいと思っています。